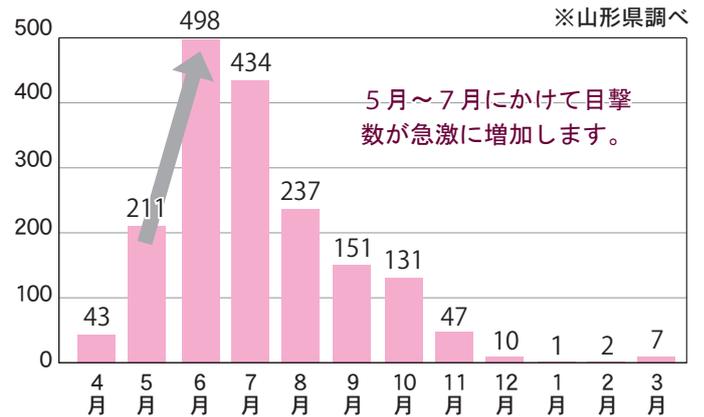


【表1】白鷹町の平成28年度の被害作物物件数

被害作物	件数	被害にあった地区
リンゴ	13	山口4、高岡2
赤スモモ	2	横田尻1、高岡1
モモ	2	菖蒲1、畔藤1
ブドウ	1	鮎貝1
カボチャ	1	畔藤1
スイカ	3	荒砥乙1、十王1、畔藤1
デントコーン	8	高玉2、横田尻1、山口1、高岡1、佐野原1、滝野1、浅立1
トウモロコシ	1	山口1
ハチの巣	7	高玉2、山口2、鮎貝1、菖蒲1、十王1
クリ	2	横田尻1、鮎貝1

※役場に連絡のあったもののみ

【図1】山形県内のツキノワグマの目撃件数
(平成24年～28年度計)



放棄地の広がりにより、山と人里の境目がなくなり、人と動物との緊張感が薄れていることが原因とされています。

なぜ、人身事故がおきるの？

ツキノワグマは、臆病な性格のため、多くの場合クマの方から逃げていきます。攻撃するのは、不意に出会って驚いたときと、母グマが子グマを連れてくるときとされています。

出合い頭の事故を防ぐため、クマ鈴やラジオなどによりクマに自分の存在を伝えることが予防策になります。

もしクマに出会った場合、クマから視線を外さずゆっくりと後ずさりし、その場を立ち去りましょう。

出没・被害防止のポイント

①近づけさせない

クマは、臆病な性格で、明るく見通しのよい場所を嫌います。家・畑・果樹園等の外周の草地を刈り払うことで、クマは近寄りづらくなります。

これから徐々に草木が生い茂る

知識と備えが身を守る。

クマに対する正しい知識とちょっとした備えが、いざというときに自分の身を守ることにつながります。山に入るときや畑仕事をするときなどには、身近で購入できるクマ対策用品などを有効に使いましょう。



1_クマ護身用のスプレー。トウガラシの成分が含まれており、クマに強烈な痛みと刺激臭を与えて追い払う 2_クマよけの鈴。高音で、音色が遠くまで響く 3_クマよけの笛。鈴と同様クマに自分の存在を知らせ、遭遇しないようにする

時期になります。山際に隣接する藪、河川敷や堤防、近年増加している空き家など、野生動物の隠れる場所はないか確認してみましよう。

②エサ場をなくす

クマは、食料がある場所を覚え、居ついてしまいます。収穫しない果樹や野菜、家庭で出た生ゴミ等引き寄せるものはないか確認してみましよう。

白鷹町では、軒下や神社等に偶然ミツバチの巣ができ、ハチミツを求めてきたクマに壁を破壊されたケースがあります。巣を見つけた場合、すぐに除去するようご協力をお願いします。

③囲いで守る

昨年度もさまざまな作物等が被害を受けました(表1)。しかし、エサ場をなくすとはいえず、農業あるいは自家用の菜園は、私たちの生活には欠かせないものです。守るべき畑や果樹園は柵で四方を囲み、侵入から守りましょう。

柵にも、ネット柵、電気柵、金属フェンス等さまざまな種類があります。畑の規模や作物の種類、侵入する鳥獣等を把握し、現場にあったものを設置しましょう。

④クマを見つけたときの連絡先

長井警察署 ☎84-0110
 総務課防災管財係 ☎85-6122
 農林課森林整備係 ☎85-6125